

HOYOG 教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650 神戸市中央区加納町 6丁目3番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078) 393-5949(代)
〔編集〕 教区基推委広報部

1994. 7. 81号



姫路中組 光源寺本堂での研修会

その後、仏教婦人会連盟が六月二十七日から七月二十日までに七会場に分けて、仏教壮年連盟が七月十日から八月二十八日まで五会場に分けて、門徒総代会が九月十九日から十月七日まで七会場に分かれて開催する。

(広岡行信)

毎年、寺族婦人会連盟・仏教婦人会連盟・仏教壮年連盟・門徒総代会がこの六月から十月までの間に、教区内を各ブロック別にそれぞれテーマにそって研修会を開催している。

本年も去る六月二十二日から二十四日にかけて、今年度最初のブロック別研修会が寺族婦人会連盟をトップに、八ブロックを姫路(姫路中組光源寺)・神戸(神戸別院)・豊岡(豊岡教堂)

寺婦をトップに仏婦・仏壮・総代会

各ブロックで研修会

の三会場に分かれて開催された。

二十二日の姫路での研修会には百四十九人の寺族婦人が参集し、午前十時三十分より開会式があり、開会の辞・真宗宗歌・重誓偈・仏教婦人会綱領唱和の後、辻岡武子寺族婦人会連盟委員長が本年は近畿ブロック

の研修会が兵庫教区担当であり、参加者の方に喜んで頂ける研修会になるように、また、今年の滋賀県への開法旅行について、毎年バス一台がやっとなります。今年は一バス二台になるように期待しております。引き続き土基教務所長が教化センターへのご懇談の

二十四日の豊岡では前日と同様の研修があり二十七人が参加し、三日間を通して合計二百二十六人が参加し、親鸞聖人の生涯に学び、寺族婦人としての自覚と素養を深めた。

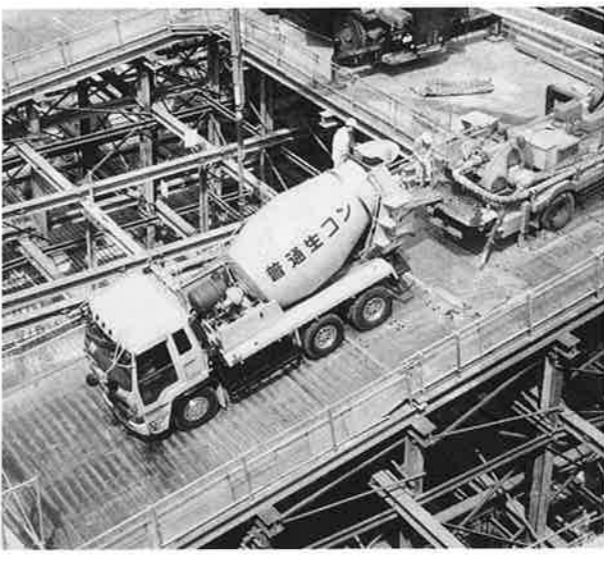
お礼と現況報告を含めてのあいさつがあった。開会式後十一時から昼食をはさみ二時まで「親鸞聖人の生涯に学ぶ」のテーマのもと野瀬善隆師(滋賀教区)より研修読本を中心として講義があった。続いて二時から声明の基礎を和田宏之師(揖電東組源徳寺)を講師に正信偈や意識修行を練習し午後三時三十分閉会した。

二十三日の神戸での研修会では、五十人が参加し講義の講師に宇野行信師(大阪教区)、声明の講師に光森龍樹師(神明組安養寺)をむかえ研修があった。声明では葬場勤行の練習があり、「女性だけの勤行は綺麗ですね」と講師。



胸がつまって出る嘆息、胸がつかえて出る嘆息をあらわすことば。喉・喉と同意語。○「お

教区だより 7・8月			
20日(水)~21日(木)	近同推寺婦研修会	本願寺門徒会館	
21日(木)	布教団総会・研修会	神戸別院	
24日(日)	仏壮ブロック研修会(丹波・但馬)	多紀組尊光寺	
25日(月)	組僧侶研修スタッフ・講師研修会	10時半	
26日(火)~28日(木)	少年連盟サマースクール	赤穂南組宝尊寺	
31日(日)	仏壮ブロック研修会(岡山)	岡山南組真光寺	
8月1日(月)~3日(水)	暁天講座 高崎長英師・近藤龍樹師・田中英明師	7時半	
2日(火)	矯正教化連盟総会・研修会	3時	
6日(土)	第一土曜仏教講座 紅煤英顕師	1時半	
6日(土)~7日(日)	全国真宗青年の集い	長野	
7日(日)	永代経開闢法要	大谷本廟	
12日(火)	教区会	10時半	
13日(水)	仏婦ブロック研修会(神戸)	神戸県民会館 津村別院	
14日(木)	近畿仏婦打合せ会		
14日(木)	仏婦ブロック研修会(但馬)	朝来組如来寺	
15日(金)	保育連盟園長・主任研修懇談会	神戸中組光尊寺	
14日(木)~16日(土)	別院常例法座 富永眞哉師	1時半	
17日(日)	仏壮ブロック研修会(阪神・神戸)	神明組浄教寺	
18日(月)	建設推進委員会・常任委員会(午後)	10時半	
19日(火)	仏婦ブロック研修会(西播)	姫路西組本徳寺	
20日(水)	仏婦ブロック研修会(東播・姫路)	姫路西組本徳寺	



耐圧板にコンクリートを流し込む様子 94.6.25撮影

現況	予定
6/10日	27日
・第三次掘削	・地中梁型枠建込み
(GL10メートル)	29日
・床付け・砕石敷	・定例打合せ
13日	・森本倉庫から仏具搬出
・建築部会	30日
15日	・総務部会・三役会
・捨てコン打設	予定
・定例打合せ	・二段目切梁を解体し、
17日	地下二階部分を養生
・耐圧版・地中梁配筋	7/18日
22日	・建設推進委員会
・総合定例打合せ	建設懇志進納総額
24日	十億五千四百三十万七千七百三十円
・耐圧版コン打設	(94年6月30日現在)

本願寺神戸別院改築 兵庫教区教化センター設立 建設工事進捗状況

少年教化 寺族婦人研修会に参加しませんか

本山少年連盟では、昨年に引き続き少年教化に対し、関心・意欲のある寺族婦人(未経験者・経験年数の少ない方優先)を対象とした研修会を来る九月十三日から十四日まで宗務総合庁舎と門徒会館において開催します。基調講演は河村としこ氏(菟女子短期大学教授)で二日目は模擬日校が予定されています。募集人数が六十二名(各教区二名)。参加費が一万円。参加ご希望の方は七月末日までに教務所少年連盟事務局(担当竹内)まで。

大西正信師(おおにし・しょうしん) 神戸西組眞寺住職)六月十一日、六十才で往生。葬儀は六月十四日、眞真寺で、「教信院釋正信」。

昭和六十年より任職在職九年。この間、昭和六十一年から平成二年まで教区会議員を一期務めた。

川木アキノさん(かわき・あきの) 神明組善福寺前々坊守)六月十六日、九十四才で往生。葬儀は六月十八日、滋賀県で。「善丞院釋尼秋納」。

お盆の「法」を

今年もお盆が近づいてまいりました。パンフレットになって好評の「法」シリーズ、お盆号を今月の教区新報と一緒にお届けします。ご門徒さん向けに作成しておりますので、文書伝道にご活用ください。

今回も一部二十円で、百部以上の場合、無料で寺号を印刷いたします。お早めにお申込みください。

豊岡教堂非常勤参勤に 藤澤大紀師

平成六年四月一日付けで城崎組組長の藤澤大紀師(城崎組光永寺)が豊岡教堂の非常勤参勤となられました。なお、昭和六十一年四月より平成六年三月三十一日までの八年間ご苦勞いただいた藤本義梅師(城崎組徳證寺)が退職されました。

敬 弔

「浄土真宗の儀礼論」

宗会議員・阪神西組西福寺住職
豊原大成師

青僧会研修会で講演

六月二日、青年僧侶の会（堀尾洋会長）研修会が別院で開催され、宗会議員・阪神西組西福寺住職の豊原大成師が「儀礼論」というテーマで講演した。要旨をご紹介します。

儀礼の問題に入る前に、基本的立場として生とは何か、人生とは何か、宗教とは何か、科学とは何かを述べ、儀礼とは象徴（シンボル）であることを述べた。具体的に言えば動作、言葉も思想的象徴。例えば合掌・礼拝・称念・焼香・献花・献灯・行道など。また、衣服も荘厳も信仰（思想）の象徴である。親鸞聖人はお寺はいらないだとおっしゃっている。その必要がなかったとも言える。それはどこにいてもお念仏をしておられたからである。

お寺はご門徒が建てたものであって、お浄土を味わえる場所が欲しいと、そのために努力した。いわばお寺は信仰の結晶である。単にそこで、儀式に参加するためではない。私たちはご門徒がお寺、お仏壇と言うものをどう思っているのかも一度考えてみる必要がある。それはお浄土であり、本堂はお浄土のコピーであるし現世の浄土である。五感による浄土との接触の場。それを表現するのが、法式である。ことに声の部分が声明、視覚の部分が荘厳、作法。

上卓になぜお仏飯を一對供えるのかという問いに一つは阿弥陀さまでもう一つはお釈迦さまだと答える人があがるが、そうではなく一対の方がかっこいいからそうしているのであって、五具足にしてもそうである。美学では美についてハーモニー（調和）とシンメトリー（左右対称）の美がある。五具足はシンメトリーの美で三具足はハーモニーの美である。

僧侶はもともと本堂のお荘厳について関心をもたなければいけない。ご本尊が横に傾いていたり、阿弥陀さまから上卓の蠟燭立、火舎の頭、上卓の金具の真ん中、打敷の模様のもん中といった中心線がずれていたりするお寺が非常に多い。輪灯の位置や向きについても金香炉を中心に鳳凰が羽を広げているかのようにするべきである。その他、礼盤や打敷を適切な寸法にすることや手製の隅枠を使って水引きの形を整えたりと工夫をしながら本堂の荘厳が立派になり、お浄土に一步でも二歩でも近づき、お参りしている人がいよいよお浄土を味わうことができる。それが私たちの儀礼である。（文責在記者）

いのち輝く詩・文

「おかげさまのどまんなか」

亡き東井義雄師 最新刊



著者はベストロッチ賞をはじめ、数々の栄誉の賞を受賞し五十五歳に及ぶ教職生活を終え、平成三年四月に七十九歳で還浄された東井義雄師（出石組東光寺）。昭和六十二年に胃癌

の手術。そして、平成二年には長男（勤務先の小学校で突然意識不明、植物状態）また、平成三年にはご自身が手紙を投函するために郵便ポストへ自転車で向かう途中自動車と接触事故。意識不明のまま亡くなった。本書は亡くなる数日前まで書かれていた日記や詩をまとめ、本年六月二十一日に出版されたもの。折り、古い、終りのとき、いのち、生きる、の五章から成る。亡くなる前の数年間に、これまでない深い苦しみを体験した著者が、「いのちの輝き」を見つめ続け、「生きてよし、死してよし、どこでもみ手のまんなか。おかげさまのどまんなか」というありのままの心の様子が読者に伝わり、感動を与えてくれるのでは。（定価千五百円）佼成出版社。また、この平成六年七月二十九日には出石郡但東町役場隣りに三千点以上のほる著作物や蔵書を保管・展示した「東井義雄記念館」が開館する。入場無料、月曜日休館。☎〇七九六―五四一〇三〇一

お斎がしくれる食堂

センター 建築部会

去る六月十三日、建設推進委員会・建築部会が別院で開催された。当日は戸田建設と中村設計事務所から二人づつ出席の上で開催。建築確認申請時の行政指導による設計変更並びに建物管理運営上の仕様変更報告（地下部分の避難通路の確保と四・五階に火災時の非常進入路を設置するなど）また、当日の建築部会で審

議され決まったことは①外溝工事の前庭の管理上の戸締まりについてはバリカー（ステンレス鎖）を使用する②一階食堂の使用方法については、業者委託はせず、参拝者のための仕出しの配膳やお斎がしくれる厨房設備のある食堂仕様とする③一階ホール床面に断熱材を使用し底冷えを充分考慮したものと④一階便所の

教区僧侶研修は11月に

HOBI誌

◆6月1日 神崎組総代会・研修会を妙楽寺で。安井主事が出席◆2日 青年僧侶の会総会・研修会を別院で（二面に別記）総会では役員改選があり、会長に堀尾洋氏（揖尾東組西法寺）副会長に渡邊顕代さん（阪神南組長安寺）・村上義恭氏（安栗組西光寺）が選出された。会長は本年から専門委員を各部門に分けず一つになってみんなが協力しあって青僧会を盛り上げて行くこととあいさつした◆同兵宗連総会をキリスト教団で◆2日 3日 3日 ビハラ事務担当者会議を本山で。安井主事が出席◆3日 少年連盟役員会を赤穂南組宝専寺で◆4日 第一土曜仏教講座。講師は安藤龍昭師（本願寺派布教使・東海教区桑名組安養寺）テーマは「仏と人」◆5日 永代経開闢法要を大谷本願寺◆6日 門徒総代会評議員総会を別院で◆7日 別院仏婦学習会◆別院仏婦定例法座。講師は宮里哲秀師（神明組

真宗寺）◆保育連盟理事会・研修委員会を別院で。七月十五日の園長・主任研修会、八月二十日の東西保育研修会についての協議◆8日 9日 中部近畿少年連盟研修会を津村別院で。登録単位会から十人参加◆社会福祉推進協議会中央研修協議会を本山で。安井主事が出席◆9日 10日 第十五回全国園長研修会を福岡のホテル海の中道で。全国から二百人が参加◆11日 研修指導員部会◆組織教化推進委員会◆11日 12日 広島別院復興三十周年記念法要・原爆五十回忌法要に土基輪番が参詣◆12日 北摂組総代会を蓮照寺で。安井主事が出席◆13日 同朋運動推進委員会を別院で。組同朋講座について要項や講師団の検討・教区僧侶研修について・同兵宗連部会についてなど◆建設推進・建築部会を別院で（二面に別記）◆14日 中央区仏教総会を六甲荘で。上原副輪番が出席◆14日 16日 別院永代経法要。講師は竹内俊之師（揖尾東組浄蓮寺）仏教は仏に成る教である



別院永代経法要の竹内師

が、仏に成りたいとか早くお浄土に参りたいと日頃思わない私たちは、生老病死を乗り越えて幸福な人生をおくれるように目的意識をもってお参りをと。また、交通事故で突然亡くなった叔父さんの話、勉強部屋の欲しい子供と母親の話など。お同行から涙。何が幸福か心が満ち足りてお蔭と喜びあえる人生を、精一杯生きて、悔いのない人生をと三日間の法座を締めくくった◆16日 福祉共済年金制度対応委員会が本山で。土基教務所長が出席◆16日 17日 全国組長研修会を本山で◆青年僧侶の会役員会

を別院で◆連研修了者大会発表者打合せ◆17日 平成五年度別院・教区会計監査。監査委員の小井田善弘氏（神姫組明正寺）と村上一郎氏（氷上西組西往寺）が監査◆門推編集委員会を別院で◆連研修了者大会準備会を別院で◆20日 建設会計平成五年度監査。監査委員の山本俊英氏（高砂組西法寺）・布埜克之氏（赤穂北組浄光寺）・石元光正氏（神戸湊組西光寺）が監査◆別院責任役員・総代会。平成五年度一般会計並びに特別会計決算承認、別院建設工事進捗状況報告、監査報告、蓮如上人五百回遠忌総合計画推進について◆サマースタッフ会を別院で。七月二十六日から二十八日まで赤穂南組宝専寺で開催されるサマースクールについて◆21日 世界仏婦大会打合せを本山で。尾井主事が出席◆成徳学園理事会上土基教務所長が出席◆22日 寺婦ブロック研修会（東播・姫路・西播・岡山）を姫路中組光源寺で。講師は野瀬善隆師（滋賀教区）・和田宏之師（揖

竜東組源徳寺）◆近畿篤面研修協議会を京都で。竹内主事が出席◆23日 寺婦ブロック研修会（阪神・神戸・丹波）を神戸別院で。講師は宇野行信師（大阪教区）・光森龍樹師（神明組安養寺）◆24日 寺婦ブロック研修会（但馬）を豊岡教室で。講師は前日に引き続き宇野師と光森師◆戸田建設が本山見学研修。上原賛事が引率。◆25日 第三連区門徒推進員研修協議会準備会を本山で。会長桑田勇氏と竹内主事が出席◆27日 仏婦ブロック研修会（岡山）を岡山北組浄円寺で。講師は岡橋聖丹師（京都教区）◆28日 組織教化推進委員会・研修指導員部会合同会議を別院で。教化団体の研修プログラムをセンター設立後どうするのか。研修指導員部会で素案を作成し、委員会へ報告。委員は担当に分かれて関わっていく。また、研修指導員部会長に応供乗生師が選出された◆連研修了者大会のステージ上のタイトル看板や両脇の講座や講師名の字幕などを門徒推進員の谷口すまゑさんが四日間かけて作製した。タイトル看板は定規を使って字体とサイズを合わせるのに苦労されていたが、さすがに筆書きの方は一日で仕上げられた。ちなみに谷口さんは門徒推進員連絡協議会で発行している揭示伝道標語のポスターを毎回書いています◆28日 29日 近畿仏婦基幹運動推進懇談会を奈良◆29日 30日 第三ブロック若手布教使育成研修会を岐阜のホテルスポーツパルクで◆連研担当者会を本山で。竹内主事が出席◆30日 常備会。教区平成五年度会計決算報告について◆建設推進委員会・三役会・総務部会。終了後現場を視察。



看板を書く谷口すまゑさん

喜びあえる人生を